(学内様式 5-2)

情報公開文書（多機関共同研究用）

作成年月日：2026 年 5 月 21 日（Ver.1.0）

熊本大学【熊本大学病院長：平井　俊範】では、他施設と共同で実施する下記研究のために、熊本大学で実施された先行研究：子宮内膜と胎盤栄養膜細胞の相互作用の解析（倫理第 3174 号）で患者さんから取得された既存試料を使用いたします。

なお、下記研究は久留米大学の医に倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て、個人情報保護法に規定する規律を遵守して実施しています。当該試料の使用については、研究計画書に従って仮名加工化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。**本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。**

【研究課題名】ヒト胚盤胞とヒト子宮内膜・栄養膜幹細胞を用いた着床モデルの構築と癒着胎盤発生機序の解明

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（試料・情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学医学部産婦人科学講座　教授　津田　尚武

試料の提供元：久留米大学医学部産婦人科学講座

【研究分担施設・研究責任者】

熊本大学発生医学研究所胎盤発生分野　教授　岡江　寛明

【(研究対象者)】

１）受診期間：西暦 2025 年 4 月から西暦 2030 年 12 月 31 日までの間

２）受診科：熊本大学病院　　産婦人科

３）対象者：先行研究子宮内膜と胎盤栄養膜細胞の相互作用の解析（倫理第 3174 号）で、試料を提供された方

【熊本大学の試料の項目】

試料：子宮内膜

授受の方法：久留米大学病院産婦人科から提供された凍結胚盤胞と、熊本大学病院産婦人科の既存の子宮内膜を用いて、熊本大学発生医学研究所胎盤発生分野にて研究を実施します。

【研究目的】

上記の試料を使用し、ヒト胚盤胞とヒト子宮内膜・栄養膜幹細胞を用いた着床モデルの構築と癒着胎盤発生機序の解明を目的とした共同研究を実施します。子宮内膜モデルと着床胚を合わせて遺伝子解析（次世代シークエンス（NGS 解析））を行います。

【研究（利用）期間】研究実施許可日から西暦 2031 年 3 月まで

【利益相反に関する事項】本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座　教授　近藤　英治

問い合わせ担当者：熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座　大学院生　山元　康寛

電話: 096-344-5269

E-mail: yasuhiro_yamamoto@ymail.ne.jp

研究番号